



「チャングムの誓い」のロケ地の民俗村で

韓流ドラマ

全羅南道・釜山の旅⑥

「冬のソナタ」のC Dを聴きながらこの原稿を書いている。

今回の全羅南道の旅は韓流ドラマ・映画のロケ地を訪ねた旅とも

サビエル生誕五百年

巡礼の道

藤屋 侃士
(下松市幸ヶ丘)

276

いえる。帰ってから次女にそのことを話すと「それなら一緒に連れて行ってほしかった」と残念がる。大の韓流ドラマファンらしい。私はほとんど見えないので、ヨン様かゴ様かもよくわからない。旅行中のバスの中でも、後ろの席の老婦人と中年女性が韓流ドラマの話ばかりしている。失礼な言い方かもしれないが、なぜ老婦人までもがこうも韓流ドラマに熱中するのかわからない。思えば、妻も以前はよく見ていたらしい。「冬のソナタ」はNHK衛星で放映されたあと、NHK総合で放送されて爆発的に人気が出た。その後、民放でも放送されたらしいが、当時は

会社勤めで見たこともなかった。韓流ドラマは退社して夕方、民放で放送された「冬鳥」というドラマを見たていどだ。だから中年婦人層を中心にこれほど人気があるというのを知らなかった。韓流ドラマの話をする、いろいろなドラマのDVDを持つていたりという婦人の多いことにも驚かされる。

せっかくロケ地を旅したのだからと、遅まきながらレンタルショップにDVDを借りに行き、さらに驚く。何と「韓流ドラマコーナー」が設置され、たくさんDVDが所狭しと並んでいる。そして女性だけでなく男性もよく借りているらしい。何が日本人の心をつかんだのだろうか。今回訪れたロケ地は①ペ・ヨンジュン初主演映画「スキヤンダルの潭陽(タミヤン)の瀟灑園(ソセウオン)」、②「夏の香り」の宝城(ボソン)の茶畑、③「チャングムの誓



「冬のソナタ」最終回のロケ地・外島に着く遊覧船

い」の雁天(スンチミン)の民俗村・安邑城(ナグアンウブソン)④「冬のソナタ」の最終回のロケ地・巨済(コジエ)の外島(ウエド)である。特に「冬のソナタ」のロケ地、外島海上観光農園は今も韓国の人たちも訪れる人気観光スポット。巨済から遊覧船で十五分ぐらいのところにある島は大勢の人でにぎわっていた。帰国して友人の奥様から「冬のソナタ」のDVDを借りて見た。記憶喪失、異母兄弟、失明など非現実的なドラマチックな構成だが、テンポがあり、引きつけられる。誰にもある若き青春時代のドラマの主人公に自分を置き換えて喜びや悲しみを共にしているのだから。



「冬のソナタ」のCDジャケットから

いからです。しかし、それでも私はあなたを愛します」ジャケットの写真も言葉も、流れるCDのテーマ曲とともに胸を締め付ける。しかし、今、自分が考えることは恋の終わりではなく、こんな美しく若き人間の誰もが老いるということだ。若さの中にある輝き、それは若さだけのものだろうか。老いても輝きを失わない愛、そんなものは存在しないとしたら、老いることは余りに寂しいことである。そんなことはない、小雪舞うジャケットを見ながら流れる音楽に耳を傾ける。